

# 以前から友人に「美味しくてきれいだ」と言われていた米の品質が、最優秀賞に表れたことはうれしいですね

## 最優秀賞が米作りの励みになった

「こだわり米の「ひとめぼれ」と「あきたこまち」、「ぎんさん」と野菜を潟上市天王で栽培しており、以前は「ササニシキ」を作っていました。家では「あきたこまち」より粘り強くない「ひとめぼれ」を食べています。友人などに自分の「ひとめぼれ」を贈ったときに「美味しくできたいな米だ」と言われていました。米の品質が美味しい米コンクールの最優秀賞として表れたことはうれしいですね。最優秀賞を受賞したことが、「もつと頑張ろう」と米作りの励みになりました。

## 圃場に合わせた栽培管理を徹底

「ひとめぼれ」の圃場のうち、条件の合った一部で疎植栽培を行っています。疎植栽培では株間が広くなることで日当たりがよくなり、稲が強く成長するため、この疎植栽培で育った米が受賞したのではないかと感じています。

「苗箱まかせ」を施用したうえで側条施肥をしています。肥料が多いと倒伏に繋がってしまうため、圃場によって側条の施肥量を加減しています。また、水回りがうまくいくようにとても気を遣いますし、草刈りもできるぎりぎりの時期まで行い、今年7月20日頃まで刈っていました。

住宅地に近い水田に「ひとめぼれ」などを植えているのですが、夜に住宅から漏れる光につられて、虫が寄りやすくなるんです。そのため、ヘリ防除のあとに追加防除

も行うなど、カメムシ対策を万全にしています。

## 稲刈りを控えて

今年の米作りも順調に進んでいます。あとは稲刈りの時期に、台風などが来ないとありがたいですね。昨年の稲刈りのときは倒伏しかかった場所を優先して刈るなど、気を遣って進めました。また美味しい米コンクールで受賞できるように、JAなどの指導を仰ぎながら毎日の農作業に励んでいきたいと思っています。

「美味しい米」コンクール最優秀受賞米は直売所「あぐりんなかいち」でお買い求めいただけます。

